

NPO法人 かながわ外国人すまいサポートセンター



ニュースレター No.34

“すまセン”の窓口ではスタッフが10ヶ国語で相談を受け付けています。
アパート探しの内見や契約後の問題発生など必要に応じて通訳を派遣します。

お気軽にお尋ねください。

ごあいさつ



設立から20年を迎えた当団体は一年を超すコロナ禍の下、今まで経験したことのない苦難と向き合うことになりました。

一年を振り返ると休業、廃業に追い込まれたり仕事がなくなったり働く機会を奪われた人たち、子どもや高齢者を抱えた家族、家族を背負うわかものなどがすまセンを訪ねてくることが増えたことがわかります。このような不安の中、今まで住んだ家を離れなくてはならなくなった人たちも少なくありません。公営住宅の申し込みサポート件数も以前にもまして増え、住居確保給付金、緊急支援資金、生活総合支援資金などの申し込みのためにすまセンを頼る人たちからの問い合わせや来所が多くなりました。理事、スタッフたちはさまざまな苦しみを抱える人たちに寄り添い懸命に相談者を支える日々を過ごしてきました。

このような中、去る4月24日、かながわ外国人すまいサポートセンター総会を開催しました。昨年度を振り返り今後一年の活動方針について協議し、今後も会員のみなさまのご協力を得ながら、理事、スタッフ一同これまで以上に努力を重ねていく決意を新たにしました。

困難な状況はこれから暫く続くと思われませんが、一人でも多くの人たちの自立と生活を支えるための活動を進めていく所存でございます。

かながわ外国人すまいサポートセンター理事長 裴 安



総会を開催、2021年度がスタート！

2021年4月24日(土)、横浜YMCA2階 NPOセンターにて、「特定非営利活動法人かながわ外国人すまいサポートセンター 2021年度 総会」が開催されました。

緊急事態宣言下で、昨年度同様、参加者縮小にて行われた総会でしたが、理事長の他4人の理事と1人の監事が出席、2020年度事業活動・会計報告、2021年度事業方針・予算などの審議が行われ



れました。書面評決書を提出してくださった会員の皆様の意思も併せ、すべての議案が承認され、2021年度活動のスタートを切りました。

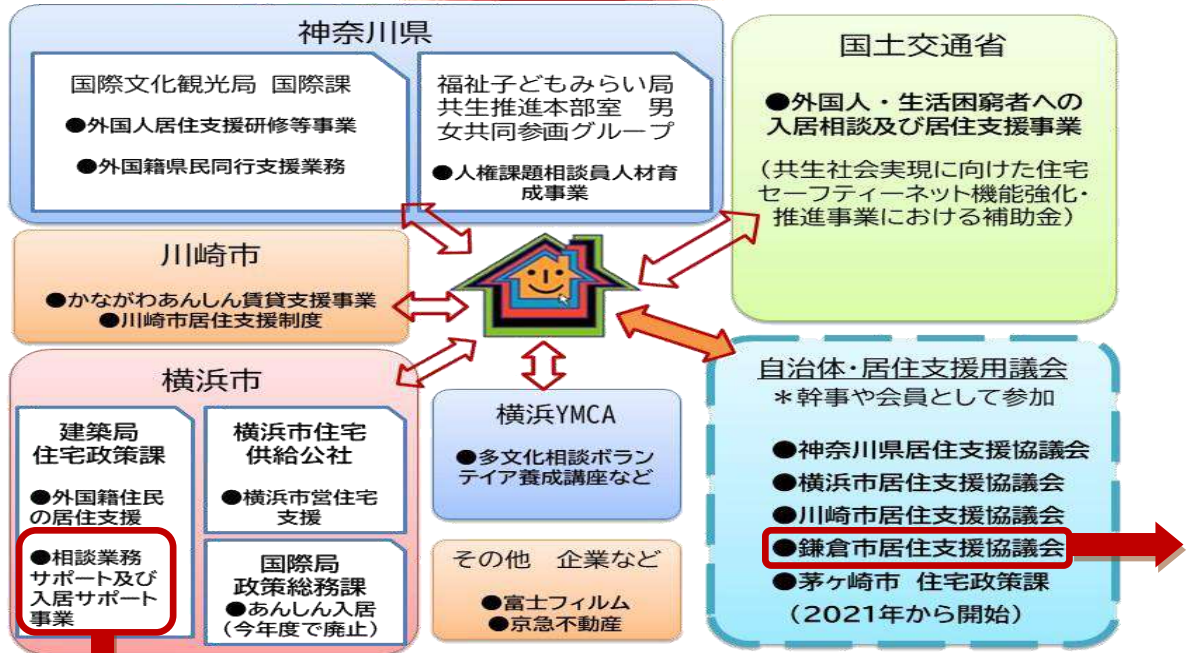
緊急事態宣言は5月末まで延長され、コロナウィルスの脅威と隣合わせの生活はこれからもまだまだ続くと思われませんが、立ち止まることはできません。コロナウィルスの影響を受けて、様々な所で困難を抱える外国人や生活困窮者が、いつでも相談できる窓口として、2021年度も継続的に活動していく所存です。

各居住支援協議会、行政とすまセンの連携

すまセン受託事業・連携している居住支援協議会

すまいサポートセンターは、国土交通省をはじめ神奈川県などの自治体から様々な事業を受託し実施しています。

また、各自治体の居住支援協議会に幹事や会員として参加し、行政窓口や様々な団体とも連携しながら、幅広い活動を展開しています。



横浜市住宅供給公社
住まい・まちづくり
相談センター

かながわ外国人
すまいサポートセンター

横浜市住宅供給公社住まい・まちづくり相談センター(以下、「公社」)は、横浜駅「きた東口」より徒歩10分程のポートサイド地区にある、ヨコハマポートサイドビル4階の「募集担当」とそごう横浜店9階新都心センターにある「住まいるイン」の2箇所で業務を行っています。

「募集担当」は、ヨコハマ・りぶいん、子育てりぶいん、高齢者優良賃貸住宅等の家賃補助付制度住宅や公社賃貸住宅、一般賃貸住宅の募集の他、令和元年8月より居住支援協議会の相談窓口を行っています。一方、「住まいるイン」は、横浜市「住まいの相談窓口」として高齢者住替え相談や空家に関する相談、マンション管理相談等を行っています。

居住支援協議会相談窓口では開設以来、セーフティネット住宅や公社で管理している住宅を紹介してきましたが、住宅確保要配慮者の要望に合う住宅が少なく、なかなか成約に結びつけられませんでした。そうした中、昨年10月より、同じ居住支援協議会会員である「かながわ外国人すまいサポートセンター」様(以下、「すまセン」と連携し、住宅確保要配慮者の居住支援を促進することになり、現在は手助けが必要な方や転居する期日が迫っている方など、緊急性の高い方からの相談があった場合は、すまセンと連携し、すまセンが長年培ってきたノウハウを活用して住宅を探すという流れで入居支援にあたっています。

また、昨年は障害をお持ちの方からの相談で、その方の状況から福祉の支援体制が必要と判断して、公社とすまセンとで福祉機関を訪問して支援の依頼をした事例もありました。

今後も、すまセンとの連携をより深めて、住宅確保要配慮者の居住支援を進めていきたいと考えています。



横浜市住宅供給公社 住まい・まちづくり相談センター
副所長 小島 徳明

鎌倉市居住支援協議会 すまいの多言語ガイドブックが完成しました

日本で部屋を探すとき、借りるとき、分からないことはありませんか？『鎌倉でくらし～すまいの多言語ガイドブック』を翻訳・製本しました。鎌倉に住む外国籍市民がすまいや生活で困っている時の道標になるでしょう。



8言語翻訳 【ベトナム語・ネパール語・タガログ語・タイ語・インドネシア語・中国語・英語・やさしい日本語】



鎌倉市居住支援協議会
のHPへ



鎌倉市外国人人口
(2020.3現在)

1 韓国朝鮮	315
2 中国	266
3 米国	154
4 フィリピン	86
5 ベトナム	77
6 台湾	60
7 タイ	48
8 インドネシア	48

会員入会・寄付のお願い

皆様のご理解、ご協力が「かながわ外国人すまいサポートセンター」の活動の力になります。また、ご寄付も歓迎いたします。

振込先 [郵便局] 00270-5-39032

かながわ外国人すまいサポートセンター

正会員 年会費

(個人) 1口 5000円
(法人) 1口 10000円
(団体) 1口 100000円

賛助会員 年会費

(個人) 1口 3000円
(法人) 1口 10000円
(団体) 1口 10000円

*4月1日～翌年3月31日までの年会費です。

◆2020年度会費をお納めいただいた方々◆ *順不同

<団体>

在日本大韓国民団 横浜華僑総会 在日本朝鮮人総聯合会
公益社団法人 日本賃貸住宅管理協会 神奈川県支部
公益社団法人 全日本不動産協会 神奈川県本部
公益社団法人 神奈川県宅地建物取引業協会
公益社団法人 神奈川県宅地建物取引業協会 川崎南支部
一般社団法人 全国賃貸不動産管理業協会 神奈川支部
特定非営利活動法人 ワーカーズコープ
中高年事業団やまて企業組合 (財)大和市国際化協会
神奈川青年司法書士協議会

<個人>

武田 利邦 金井 信高 長田 誠 稲村 厚 高村 文子
裴 安 長澤 勲 柳 晴実 森川 洋子 阿部 孝子
高橋 修 竹口 秀夫 水田 秀子 西村 明夫 高原 晶子
松本 アルベルト 山成 健治 黛 雅男 計屋 珠江
明星 圭介 三浦 保之(新) 天野 萌 笠間 和歌子
ファミル・アンジー 何 麗君 清水 雅恵(新)
佐々木 利和 星 雪梅 佐藤 律子 カンデル・アルン

<賛助会員>

小儀 晃 今泉 好夫 車 香順 孔 綺(新)

<法人>

岡田ハウジング 株式会社 チェリッシュ
(有)ラディアン・ワークス ジャパンハウジング(株)
徳永リアルエステート(株) 豊一管財株式会社
株式会社 昌栄 湘南リビングセンター株式会社
有限会社 第一産業 株式会社 杉浦商事 株式会社 クレア
株式会社 ハウスモリー 株式会社 むげん 株式会社 イチイ
オーキッド株式会社 株式会社 石川商事 有限会社 エスク
(株)川崎中央プランナー 有限会社 東郊住宅社
(有)松中一級建築士事務所 徳増不動産株式会社
有限会社 寿不動産 株式会社 秋津不動産
(株)セントラルホームズ 株式会社 海老名住宅センター
エス・ケーホーム(株) 株式会社 大蔵 株式会社 水島商事
株式会社 シーホーム(新) 株式会社 トータルホーム(新)
株式会社 アイホーム(新)

◆2020年度 ご寄付をいただいた方々◆ *順不同

<寄付金・基金>

千代木 ひかる 鄭 賢淑 山下 郁子
崔 一 煥 株式会社ジャパンハウジング
横浜 YMCA 国際協力基金

<緊急支援資金>

スーザン・メナチュー・チョン

新会員 紹介

◆法人会員◆

株式会社 シーホーム
株式会社 トータルホーム
株式会社 アイホーム

◆個人会員◆ 三浦 保之

◆賛助会員◆ 孔 綺



すまセン 中国語スタッフ 天野さん

大学で2つの賞を受賞！



大学1年生の夏から現在に至るまで、気付けば約2年半すまセン、相談者と一緒に歩んできました。大学のボランティアセンターを通して参加したボランティア活動で偶然すまセンに出会い、すまセンの目指す姿や活動内容に共感し、インターンをしたのが昨日のように感じます。多文化共生社会に向かって、小さい力ながら、周囲を巻き込みながら、私は一歩ずつ向かっていると信じています。より多くの若者に外国人の現状や社会問題を知ってもらうために、大学の授業を通して、何度かすまセンの活動を私と同じ年代の方に広めてきました。

2020年11月、新型コロナウイルス感染症が世の中に広まる中、私が所属している大学では、第1回ボランティア大賞が開催されました。普段の授業内の発表と異なり、大学各々の学部の先生方、また、異なる学部、学年の学生を対象に、大学での学びとすまセン活動で向き合ってきた社会問題を深めた学びと実践を合わせ発表しました。私は経済学部所属のため、経済的な観点で外国人が日本に来た経緯や日本の労働現状を含め、外国人の家探しの際に起こる問題、外国人問題について共有し、大家さんと外国人の間では情報の不完全性、情報の非対称が起きていることを参加者に共有しました。具体的な例をあげると、大家さんがステレオタイプで外国人はルールを守らないと考えた場合、大家の主観的思考にすぎなく、客観的なデータや情報をしらないことから、情報の不完全性が起きています。大家さんは外国人の中でルールを守らない人がいることを知り、家を貸す際のリスクを最小化にしたいが、入居希望者が問題のある人かどうか知ることができないから、大部分の外国人まで巻き込まれ、入居できず、お断りしている。これらが情報の不

完全性と非対称性になります。今回の発表で、改めてすまセンに対して、リサーチクエストをする機会になりました。発表を通して、社会問題が発生している最前線で活動していることを評価され、明治学院大学の「第1回ボランティア大賞：実践部門賞」、同年12月に、「2020年度課外活動奨励賞：社会貢献活動奨励賞個人賞」を受賞しました

2021年に入り、すまセンとの出会いのきっかけである大学のボランティアセンターの紹介動画の撮影、取材を受けました。実際に撮影の方がすまセンに直接来所し、普段の活動風景をお届けできました。学校の新生にすまセンの存在を知ってもらい、外国人に対して関心を持つきっかけになればと思っています。

毎週水曜日、社会問題を感じながら、様々な国、バックグラウンドを持つ相談者と多種多様な価値観や人生ストーリーに出会いました。日々不平等なことが起きている中で、最近は若者が外国人に対しての考え方、接する機会が増え、多文化共生社会に向かっての小さな力が合わさり、声を上げていることを感じています。私のような大学生が学校、SNS、自らの活動を通して、母国語の問題や外国人の現状などを世の中の皆さんに積極的に伝えています。若者が在留外国次に対して関心を持つようになったことを感じます。これからの時代の中心となる私たちが、日本人、外国人ともに暮らしやすい社会になるよう行動すべきと考えおり、これからも、若い世代に対して、アピールし続けます。

(すまセン 中国語スタッフ 天野 萌)

すまセンでは、今年度も大学生の短期インターンを受け入れる予定です。

活動内容については、ニュースレターなどで、またご報告いたします。

神奈川県在住の20代の夫婦。妻が勤めていた支店がコロナの影響を受けて閉鎖。それに伴い退職した。退職証明書は発行されたが、会社が雇用保険の手続きをおこなっていなかった。ハローワークから会社へ問い合わせの連絡がいったにもかかわらず、会社からは何の連絡もなし。夫婦ともにアルバイトをしているが収入は少なく、生活は厳しい。緊急小口資金、生活福祉資金、住宅確保給付金の申請を手伝った。

公営住宅に当選して審査にも通り、入居できることになったが、本国にいる両親を心配して一時帰国した夫が、両親のコロナワクチン接種を済ました後戻ると言ったが、日本に戻ってこない。入居期限までに夫が来日できず、妻単身での入居はできないため、公営住宅をキャンセルすることになった。

観光関係の職場で働いていた夫は、コロナの影響で失業。失業保険をもらっていたが、失業保険が切れた後も仕事が見つからず、貯金を切り崩して生活している状態。
在留資格以外の職には就けないので、職探しが難しい。妻は介護の職に就くために、外国籍県民等を対象にした介護職員初任者研修に通うことを考えたが、日本語が不安だといって断念。

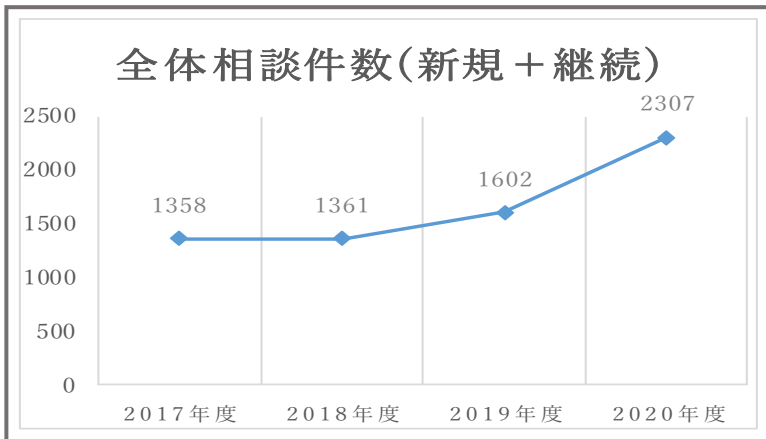
コロナ禍におけるすまセンの相談件数の変化

新型コロナに
負けない!!



新型コロナウイルスの脅威が私たちの生活を脅かすようになったのは、2019年の終り頃からだ。その後、終息を見せるどころか、世界中で猛威を振るい続け現在に至っている。コロナ禍が長引くほど、多くの人の生活に影響が出始め、すまセンに相談に来る外国人や生活困窮者が増え始めている。

近年の相談件数の推移について、全体相談件数と主な相談内容別件数の変化をグラフ化してみた。

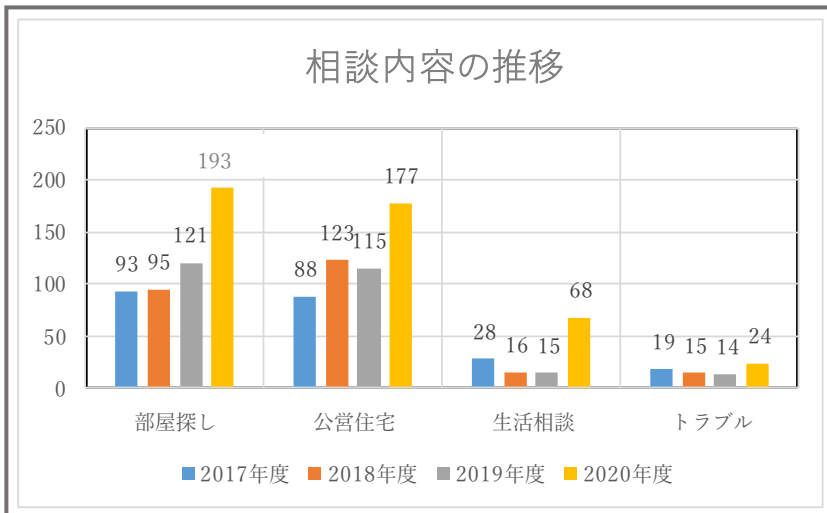


まず、全体の相談件数を見てみると、2017年度から2018年度の増加数はそれほど大きくないが、2018年度から2019年度、2019年度から2020年度になるにつれて、相談件数の増加傾向が顕著になっている。

相談内容別にみると、「部屋探し」や「公営住宅」の増加がはっきりと見て取れる。なかでも、長引くコロナ禍の影響でできるだけ家賃の安い部屋を求め、引っ越し先を探したり、公営

住宅に申し込む相談者が増加している。

また、「部屋探し」や「公営住宅」にもまして、相談が増えているのは「生活相談」で、新型コロナウイルスの影響で仕事を失ったり、収入が減少したり、在留資格で許可された範囲内での就労しかできないため、再就職や転職が難しい状況に置かれている外国籍住民が住宅確保給付金や緊急小口資金、生活福祉資金の申請サポートを求めて訪ねてきている。今後も生活相談は増加すると考えられる。





相談窓口 & 対応言語



10言語

英語・中国語・コリア語・
 スペイン語・ポルトガル語・
 タガログ語・ベトナム語・
 ネパール語・タイ語・やさしい日本語

	10:00~13:00	13:00~17:00
月	スペイン語、ネパール語、コリア語	スペイン語、ネパール語、コリア語
火	英語、中国語、コリア語	英語、中国語、コリア語
水	中国語、コリア語	中国語、コリア語
木	ポルトガル語、スペイン語、コリア語 ベトナム語	ポルトガル語、スペイン語、コリア語、中国語 ベトナム語(~16時)
金	英語、ポルトガル語、スペイン語 コリア語	英語、ポルトガル語、スペイン語 コリア語

◎相談は、無料で受けております。 ◎タイ語、タガログ語は予約してください。
 ◎対応言語は都合により変わる事があります。お電話でご確認ください。

翻訳・通訳業務

◆文書の翻訳を有料で行っています！

- ❖ 翻訳料金・納期・支払い方法等については、詳細をお問い合わせください。
- ❖ 言語によって対応できる翻訳文書は異なりますのでお問い合わせください。

《対応可能言語》

中国語・スペイン語・タイ語・ネパール語
 ポルトガル語・韓国朝鮮語・ミャンマー語
 ベトナム語・タガログ語・カンボジア語など

《翻訳可能文書》

戸籍謄本・原戸籍・住民票・課税証明書
 出生・結婚・離婚受理証明書・出生届
 フィリピン PSA 証明書など

◆一般通訳を有料で行っています！

- ❖ 市区町村役場・年金事務所・不動産店・警察署・公証役場・福祉事務所
療育センター・弁護士事務所等同行通訳
- ❖ 詳細については、お問い合わせください。

アクセス



JR根岸線 関内駅南口より徒歩
 10分
 市営地下鉄ブルーライン関内駅
 出口1番より徒歩5分
 みなとみらい線日本大通り駅より
 徒歩5分
 *横浜スタジアム向かい

〒231-8458

横浜市中区常盤町1-7 横浜 YMCA 2階

Tel : (045)228-1752 Fax : (045)228-1768

URL: <http://www.sumasen.com/>

Mail: sumai.sc@sumasen.com

ホームページもぜひご覧ください！



《編集後記》

* 新型コロナウイルスのワクチン接種が始まった。すでに予約をして摂取した人もいれば、安全性が確認できるまで打ちたくないという人もいる。
 * 月曜日、届いた接種券がいつまで使えるのか教えてほしいとペルー人の相談者が来所した。問い合わせ先のコールセンターにかけてもなかなかつながらない…。何回かけてもつながらない…。しょうがないので、確認でき次第、後日連絡することになった。
 * 金曜日、編集後記作成中、どうせまただめだろうと思いながら電話し続けると、夕方になってやっとつながった。受話器から聞こえてくる「丁寧な日本語」を聞きながら、この説明をどれくらいの外国人が聞き取って理解できるのだろうかかと心配になった。接種券の封筒には多言語案内の連絡先はない。
 (C・R)